

養育家庭をめぐる 心理的課題と教育現場での支援

日時

平成30年

2月17日(土)

13時から17時30分

内容

第1部 <研修会>

「養育家庭の現状と教育現場での支援」

13:00～15:10

講師：江口 美代子氏（東京臨床心理士会）
東京都里親委託等推進員

会場

目白大学

新宿キャンパス10号館

10508教室

(新宿区中落合4-31-1)

□西武鉄道新宿線

中井駅から徒歩8分

□地下鉄東京メトロ東西線

落合駅から徒歩12分

□地下鉄都営大江戸線

落合南長崎駅から徒歩10分

※学内に駐車場はございません。

車での来校はご遠慮願います。

対象

スクールソーシャルワーカー、

学校・教育委員会関係者、

教育者、研究者、

その他関連職種の方

第2部 <学術講演会>

「養育家庭をめぐる

心理的課題とアタッチメント」

15:20～17:30

講師：加藤 尚子 先生（明治大学文学部准教授）

参加費

(資料代/当日徴収)

学会員：500円 / 非会員：1000円

※1部のみ、2部のみも同額。

申込み

件名に「2/17申込み」、本文に所属、氏名、連絡先、参加される部を記入し、下記アドレスまで送信ください。

jsssw.kanto@gmail.com

先着順に受付します。定員(60名)となり次第申し込みを締め切らせていただきますので、ご容赦ください。

主催



日本学校ソーシャルワーク学会
Japanese Society for the Study of School Social Work

関東・甲信越ブロック運営委員会
運営委員長 大崎 広行(目白大学)

第1部 <研修会>

養育家庭の現状と教育現場での支援

内容：一般社団法人東京臨床心理士会では、東京都里親支援機関事業を受託し、里親家庭への支援の他、里親制度の普及啓発を行っています。今回の研修では、この事業の一環として、東京都の養育里親制度の概要と現状および養育家庭で生じている里親子の心理的課題について、教育現場での支援の在り方と関連づけて、里親委託等推進員が関わった支援事例を交えて、以下の点に焦点を当ててご講話いただきます。

- ①東京都の養育里親制度の概要と課題について
- ②養育家庭における心理的課題について
- ③アタッチメントの不安定な親子に対する支援のあり方
- ④義務教育終了後の「自立」支援のあり方
- ⑤里親支援あるいは里親と学校の連携支援における里親委託等推進員の役割について

第2部 <学術講演会>

養育家庭をめぐる心理的課題とアタッチメント ～虐待がアタッチメント形成に及ぼす影響～

内容：「アタッチメントとは、日本語では愛着と現わされますが、人間だけでなく生物すべてがもっている生物学的メカニズムのことです。生きていく力が弱い個体が、自分より強い大人の個体にくっつくことで守ってもらって生き延びる、生物としての戦略なのです。アタッチメントは人の成長と人格形成に大きく影響する、人が生きていく基本となる仕組みといえるのです。・・・安定した、良好なアタッチメント関係があった子どもは、例えば、人を安心で大丈夫な存在という『色眼鏡』で見えるようになり、誰に対してもニコニコと笑いながら「こんにちは」といえる人になります。また、自己肯定的なイメージも育まれますから、「自分はできる子だ」「この先きっとうまくいく、いいことがある」と、未来予測についてもポジティブになり、それは自己実現への積極的な行動につながっていきます。」 <[http://www.meiji.net/life/vol104_shoko-kato\(2016年8月4日\)](http://www.meiji.net/life/vol104_shoko-kato(2016年8月4日))>

本講演では、養育家庭や児童養護施設で生活している子どもや養育者の心理的課題について概説頂き、アタッチメントの基本的解説とともに、アタッチメントの形成が十分でない子どもや大人に対して、どのように支援していけばよいのか、わかりやすくご講演頂きます。

講師紹介 加藤尚子(かとう しょうこ) 明治大学文学部准教授

立教大学大学院博士課程修了。博士(コミュニティ福祉学)。臨床心理士。教育相談所、知的障害児施設のセラピスト等を経たあと、大学に職を移し現職。大学での教育・研究のほか、児童養護施設をはじめ虐待を受けた子どもの治療や子育て支援などの臨床活動も継続。専門は、児童虐待を受けた子どもやトラウマを受けた人の治療、子どもに関わる保育士、教師への助言など、トラウマや子育てに関わる心理学。社会的活動としては、アメリカ/コロラドの Attachment Treatment & Training Institute と交流を重ね、国際シンポジウムの開催やトラウマとアタッチメントの観点からの治療の普及に尽力をしている。プライベートでは、4人の子どもの母親。趣味は、キノコ狩り、海外ドラマ鑑賞。山崎まさよしのファン。

近著「虐待から子どもを守る! 教師・保育者が必ず知っておきたいこと」小学館(2017/7/20)

主催



日本学校ソーシャルワーク学会
Japanese Society for the Study of School Social Work

関東・甲信越ブロック運営委員会
運営委員長 大崎 広行(目白大学)